



デナリを眺望する「キャンプ・デナリ」に 3連泊して、ラストフロンティアを満喫



塚本 悦子
(つかもと えつこ)

Mt.デナリを望む“キャンプ・デナリ”

アラスカのデナリ国立公園の最深部、北米最高峰デナリ(6,194m)を望む絶好の場所に、大自然に溶け込むようにひっそりと佇むロッジが「キャンプ・デナリ」です。かつて開拓者が、夢と希望をもって築き上げたこのロッジは、今ではアラスカの大自然に引き寄せられた多くの人々を魅了してやみません。ロッジの前には小さな池があり、その向こうにMt.デナリが聳える美しい風景は、一度目にすると心に深く刻まれることでしょう。このキャンプ・デナリに3連泊し、「偉大なるもの」デナリの雄姿に見守られながらアラスカの大地を日帰りハイキングで楽しめます。

花咲き誇る広大なツンドラを歩こう

6月下旬から7月上旬にかけては、短い夏を謳歌するかのようになり、一斉に高山植物が咲き誇ります。アラスカの大地は極地特有のツンドラで、コケ類や地衣類などが凍った大地の表面を覆っています。そのため、ツンドラはふかふかの絨毯のようで、お花畑の絨毯の上を歩くような感覚は、初夏のアラスカならではの体験と言えます。また、グリズリーやムース、カリブーなど、活動的になった動物たちと出会う機会が増えるのもこの時期ならではの魅力です。植物が芽吹き、動物が活発に動き始める初夏のアラスカは、生命の躍



▲ロッジの一步外へ出るとデナリ(6,194m)の雄大な姿が目飛び込んできます

動感に溢れ生き生きとしています。

アラスカ鉄道と氷河湾クルーズ

広大な大地を体感できるアラスカ鉄道も旅の楽しみのひとつです。デナリ国立公園入口にある鉄道駅から乗車し、タルキートナを経て、アンカレッジまで約8時間の鉄道の旅は、素晴らしい展望を楽しむことができ、飽きることがありません。Mt.デナリが時々姿を現し、まるでMt.デナリに見送ってもらっているようです。旅の締めくくりは迫力ある氷

河の姿を眺めることができるプリンスウィリアム湾での氷河クルーズです。氷河が崩れ落ちる瞬間は圧巻で、極北のアラスカの地にいることを実感できることでしょう。



▲緑が眩しい初夏のアラスカを楽しむ